

リスクマネジメントの促進のための取組概要

資料 5

内閣官房
内閣サイバーセキュリティセンター



取組の目的

サイバー攻撃等による2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の準備・運営への影響の未然防止や軽減等のため、大会を支える周辺サービスを提供する事業者等によるリスクマネジメントの強化を通じ、想定されるサイバーセキュリティ上のリスクへの対策を促進。
第2回は対象を1都3県に拡大するとともに、横断的リスク評価を実施するために必要な情報について報告いただいた。

リスク評価の取組概要

- リスクマネジメントの促進のため、サイバーセキュリティリスクを特定・分析・評価する手順をNISCで作成。
- 東京大会の開催・運営に影響に与える重要サービス分野を、関連する所管省庁と調整の上で選定。
 通信、放送、金融、航空、鉄道、電力、ガス、上水道、物流、クレジット、行政サービス（地方自治体）、下水道、空港、道路・海上・航空交通管制、緊急通報、気象・災害情報、出入国管理、高速道路、熱供給、バス 計20分野
 第2回で選定した重要サービス分野
- 東京大会に向けて、継続的に複数回実施。PDCAサイクルを繰り返す。
- NISCによる大会全般にわたる横断的リスク評価の実施に向けて、必要な情報の特定や方法の検討を実施。



東京大会に向けたリスクアセスメントの取組スケジュール

【横断的リスク評価】

サービスの継続的な確保が滞った場合に、大会への影響が重大なサービスを分野を横断して抽出するとともに、それらのサービスに対して、事業者等が自組織におけるリスクアセスメントで設定した満たすべきサービス水準が妥当であるかを検証。検証結果は、事業者等におけるリスクアセスメント結果の妥当性確認や、大会に向けた訓練等に活用。

	2017年度			2018年度				2019年度	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
事業者	説明会	リスクアセスメント (第2回)		説明会	リスクアセスメント (第3回)		説明会	リスクアセスメント (第4回)	
NISC		実施のサポート	結果とりまとめ・手順等の見直し	説明会	実施のサポート	結果とりまとめ・事業者へのフィードバック・手順等の見直し	説明会	実施のサポート	結果とりまとめ・事業者へのフィードバック・手順等の見直し
		横断的リスク評価の方法の検討	横断的リスク評価 (第1回)		手法の改善	横断的リスク評価 (第2回)		手法の改善	
				確認・レビューの実施 (第1回)			確認・レビューの実施 (第2回)		

2019年度第1四半期までのスケジュール（予定）

サイバーセキュリティ対処調整センター（政府オリパラCSIRT）の構築等について

◆ 「サイバーセキュリティ対処調整センター」の構築時期・役割等をセキュリティ幹事会において決定（平成29年12月）

- サイバーセキュリティ対処調整センターを平成30年度末を目途に構築する。
- センターの構築及び運用は、オリパラ推進本部の下で、オリパラ事務局と緊密に連携し、内閣サイバーセキュリティセンターが中心となっていく。（センターの運用前については、NISCがその業務を担う。）
- センターは、大会のサイバーセキュリティに係る脅威・インシデント情報を収集し、これら情報を大会組織委員会を始めとした関係機関等に提供するとともに、必要があるときには関係機関等のインシデント対処に対する対処調整を行う。
- オリパラ特措法第8条第1項の規定を踏まえ、センターは、必要があると認めるときは、大会組織委員会等に対して、サイバーセキュリティに係る情報の提供、説明その他必要な協力を求める。

